

## 総合的な学習の時間 「手話教室」

鎌倉市立大船小学校



### 単元（題材）目標

- 様々な障がいについて理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。
- 人間一人ひとりが、かけがえのない存在であることを理解し、学級の活動に生かす。
- 手話に対する関心を高める。

### （1）実施時期

10月（2学期）

### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 約90名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校そら組（難聴級）教諭

難聴級保護者 1名

### （4）実施内容

- ① 手話であいさつゲーム
- ② 「あいうえお」の5音指文字ゲーム
- ③ 誕生日順に並び替えジェスチャーゲーム
- ④ 聴覚障がいがあるとどうなるか？（質問形式）
- ⑤ 聴こえ方と補聴器について（質問形式）
- ⑥ 聴覚障がいのある方と関わる際に配慮してほしいこと

### （5）成果〈生徒の感想などから〉

- ゲームを通して手話を体験することで、手話によるコミュニケーションに親しみを持つことができた。
- 日常的に手話を用いて授業のはじめと終わりの挨拶をするなど、これまで以上に手話を身近に感じることができるようになった。
- 難聴級に在籍している児童の保護者から、聴覚障がいのある方の聴こえ方や関わる際に配慮してほしいことなど貴重な話をうかがうことができた。